

SSKS

療育ねっとわーく川崎

2013年1月20日発行
No.155 (2800部)
NPO法人
療育ねっとわーく川崎
発行者 江川 文誠
編集者 谷 みどり

みんなの伝言板 1月のカレンダー

ご感想は e-mail : kouhou @ rond. jp までどうぞ
★編集メンバー 遠藤・佐藤・谷・七瀬・前田・和田



はいきんぐくらぶずんずん

日曜日に開催予定
☆多摩川を歩く会です。障害のある方もない方も、みんな楽しく歩いています。サポーター募集中！
代表：桑原由起子
副代表 渡辺百合子・三浦ルイ子
お問合せは Rond・福田まで

マイライフ・カワサキ

☆第2火曜日予定
れいんぼう川崎で行います
お問合せは Rond・和田まで



豊かな地域療育を考える連絡会

第3木曜日の予定です
問い合わせ先 サポートセンター Rond

平成24年度川崎市障害者地域自立支援協議会連絡会議

地域における横断的な防災の取り組み

～障害者地域自立支援協議会の使命とは～

災害時における要援護者対策について(総務局危機管理室担当係長阿部昭治氏)
〈シンポジウム〉地域における横断的な取り組み
コーディネーター 赤塚光子氏(川崎市障害者地域自立支援協議会会長) / シンポジスト 齊藤緑美氏(大田区福祉部障害福祉課計画担当係長) / 志村陽子氏(大田区自立支援協議会会長) / 北島総美氏(NPO法人ウィンドウ理事長) / 伊中悦子氏(高津区まちづくり協議会講座企画委員会委員長) / 市川高弘氏(社会福祉法人育桜福祉会わかたけ作業所施設長)
【申し込み・問い合わせ先】特定非営利活動法人川崎市障害福祉施設事業協会 〒213-0011 川崎市高津区久本3-6-22 ちどり3F 電話044-829-6610 FAX044-829-6620 100名(先着順)

日時：2013年1月31日(木) 12:30～15:30
場所：生涯学習プラザ 401 大会議室(参加費無料)
【プログラム】
12:00 受付開始 12:30 開会 15:30 閉会

こんなとき どうするの

Q 川崎市には現在13カ所の「短期入所」施設があります。利用できる施設は限られます。

子どもも高等部2年生になったので、親離れのためにも、ショートステイを利用してみたいとは思いますが、2か月前に申し込みをしないと聞かされたので、申し込みを急がなければならぬと聞き、どうしたらよいかわからず、チャンスを逃しています。

い、時間を気にせず外出し

・子どもも高等部2年生になったので、親離れのためにも、ショートステイを利用してみたいとは思いますが、2か月前に申し込みをしないと聞かされたので、申し込みを急がなければならぬと聞き、どうしたらよいかわからず、チャンスを逃しています。

・ショートステイを一カ所利用していますが、親が具合が悪くなった時など、急な時に頼める場所をもう一つくらい利用できるようなりたいです。

・歩行が不安定なので、知的障害児専門の施設のショートステイは難しいです。でも、重症心身障害児者はもっと重い障害がある人のための施設とも聞いています。どうしたらいいのでしょうか。

・家庭では、本人の状況が悪く、長期に施設を利用したいのですが、1週間取るのがやっとで、あつちこつちのショートステイに無理無理お願いして入れてもらっています。つかれてしまいます。

病院の短期入所も3カ所ありますが、利用される側からは、以下のようなお意見もいただきました。

「病院のショートステイベッドは、医療の必要性が高い人には安心かも知れないが、たとえ重症な障害があ

っても、病気ではなく健康な状態で利用するには感染症の心配もあり、患者ではないので手をかけてもらえないという危惧もあって利用できません。皆さん他にないから仕方なく利用していると思ってしまう。

ショートステイベッドは絶対的に足りないのです。中部南部に小規模で良いので重心施設の建設をお願いしたいです。ソレイユ川崎がたとえば20床可能になったとしても(それまで待たせません)分散化が必要。遠方まで連れては行けません。

今、川崎市の自立支援協議会では、平成24年度事業として、「短期入所」に関する調査を始めています。この調査は、「障害のある方と家族が、安心して身近な地域で生活を続けるために必要なサービス(短期入所)の実態を明らかにし、使いづらさの改善に向けた協議を行おう」というものです。この機会に、当事者やご家族の「本音」を伝えていきましょう。

今月号の目次

- 1 こんなどきどうするの.....1
- 2 川崎の相談支援センター再編について.....2
- 3 療育ねっとわーく市民説明会.....3
- 4 ヘルパー勉強会報告.....4
- 5 東北震災ボランティアセンター山田町訪問.....5
- 6 明日香のたまご.....6

(本誌3～6頁は会員のみ配布)

チヨイワルナイト VOL.3

★エンターテインメントと福祉をつなぐ★
みんなで一緒に遊ぼう！踊ろう！

[DANCE] GANJASTIC, RAW SKOOL (by NPO Street Culture Rights), 社労士バンド WORKERS!, polynesian hope jams, 新百合ヶ丘一輪車クラブ

[MAGIC] 藤岡友香, 岩崎 秀夫 (岩崎商店), 藤岡 友香, 社労士バンド WORKERS!, 新百合ヶ丘一輪車クラブ

[STAGE PERFORMANCE] SOCIAL WORKEERZ サラリーマジシャン内田伸哉

[参加型 PERFORMANCE] クロコダイロ, 三田サブウェイラインズ

[GOGO DANCERZ] VBQ, [PHOTO SESSION] 特設ブース撮影, [LIVE PAINT] カラフルラボ, TANG

2013.2.16.sat @ 新百合トウェンティワンホール

OPEN 12:00
START 12:30
CLOSE 16:00

【前売り】500円
【当日】1000円
【小学生】1000円
【中学生・高校生】1000円
【大学生・一般】1000円
【当日】1000円

協賛企業 Care Station JAPAN
参加団体 特定非営利活動法人 療育ねっとわーく川崎、特定非営利活動法人 わなる会、特定非営利活動法人 たるまの会、地域活動支援センター ふれんど、社会福祉法人 あおぞら共生会、社会福祉法人 三梅会、重症心身障害児・者 福祉医療施設ソレイユ川崎、町田おやじの会、ひよこ会、FUNI 瀬谷養護有志・親子サークル、川崎市重症心身障害児(者)を守る会、社会福祉法人 キャマロード、ひまわりの会
主催 SOCIAL WORKEERZ
お問い合わせ socialworkeerz@gmail.com

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond
Tel. 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981.jimdo.com/ (会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費 一口 2000円

会員・賛助会員募集

「障害者相談支援センター」になって変わること

- 通所施設や入所施設からは独立して事業所を設置します。
⇒今までよりも気軽に相談に行きやすくなります。
- 相談員の人数を増やします。
⇒今まで以上に、訪問や同行等による支援を充実していきます。
- 地域の相談支援の拠点となる「基幹相談支援センター」を設置します。
⇒安心して暮らせる地域づくり、虐待の防止・早期発見、地域の相談支援従事者の質の向上などに取り組んでいきます。
- 原則として、お住まいの区の相談支援センターをご利用いただくこととなります。
⇒現在、お住まいの区とは別の区的生活支援センターを利用されている方についても、今後はお住まいの区の相談支援センターをご利用いただくこととなります。
現在ご利用いただいている生活支援センターが、責任を持って新しい相談支援センターをご紹介しますので、御理解・御協力をお願いいたします。

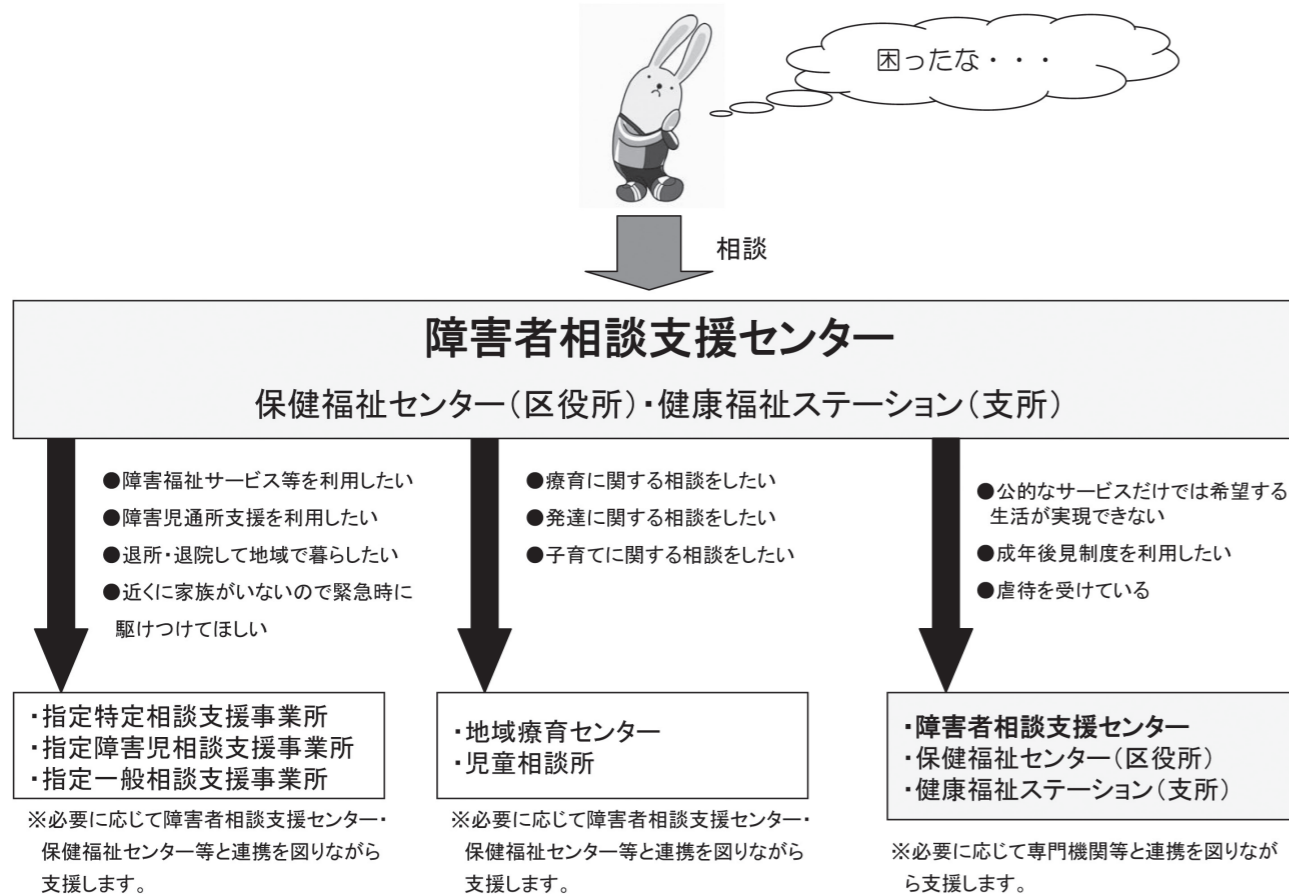
川崎の相談支援センター 再編についての市民説明会

12月26日、2013年度からの川崎の相談支援センター再編についての市民説明会がありました。会場は、当事者・家族・支援事業者などです。他の自治体にはない川崎市独自で進めてきた「相談支援センター」の再編。今後は各区に基幹型センターが1カ所・相談支援センターが3カ所になり、相談支援機関の充実を図ることを目的とされています。

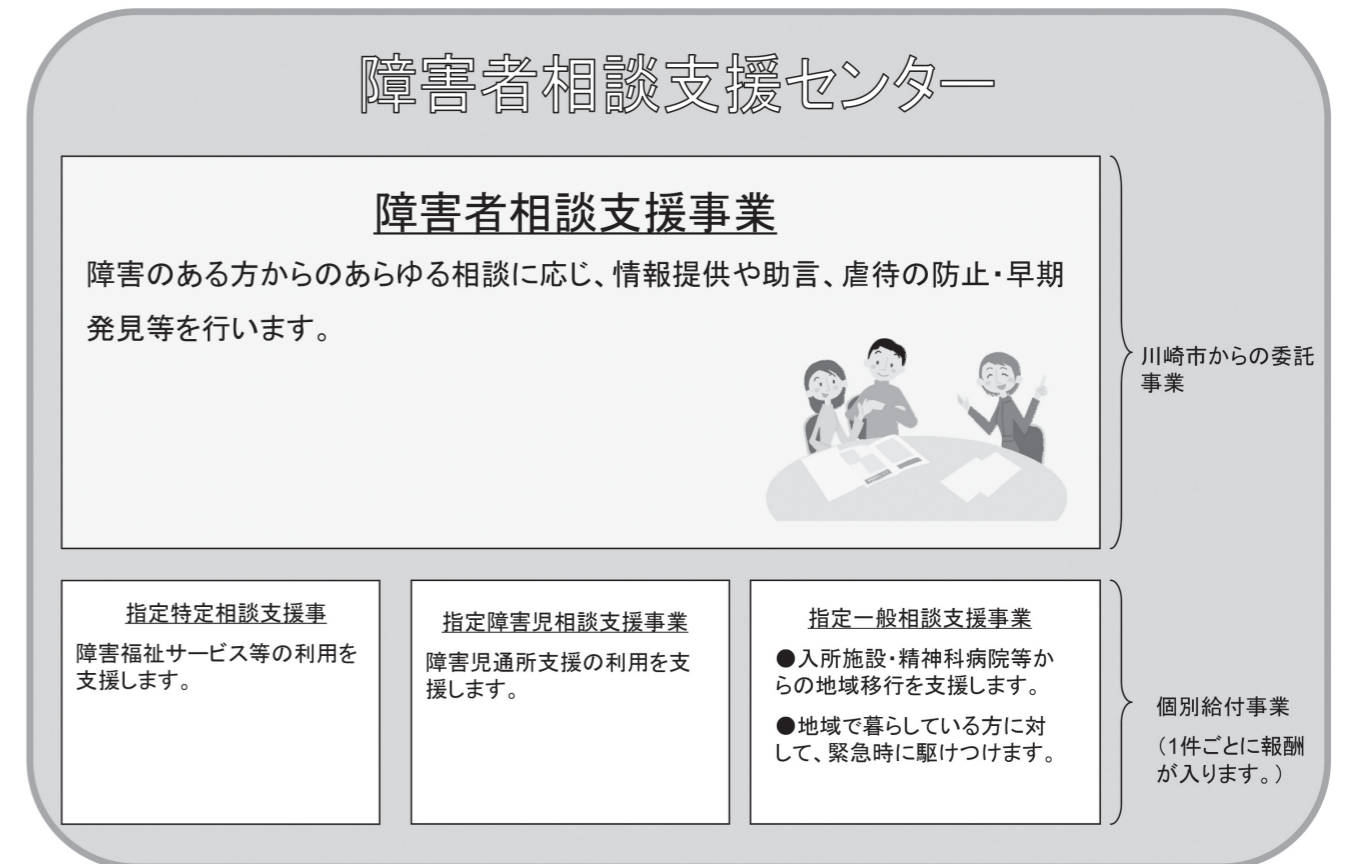
国は、自立支援法の見直しの中で、今年度から障害福祉サービスを利用する際には、相談支援専門員等によるサービス利用計画の作成を必要としています。そのことと相談支援センターの再編がどうかかわっていくのか、参加された家族の方に聞いたところ、「今まで支援センターを利用してこなかったのが、よくわからなかった」という声が多く聞かれました。説明会会場の質問用紙の回収が100件ほどあったそうですが、時間がなく、数件しか回答がありませんでした。

川崎市は、相談支援センターの事業所が確定した段階で、3月14日に再度説明会を設けること、相談支援センターの担当者も交えた相談支援についてのシンポジウムを開催することが約束されています。

平成25年度以降の相談支援事業利用の流れ(例)



「障害者相談支援センター」で実施する事業(平成25年度～)



明日香のたまてばこ



みなさん、明けましておめでとう
ございます。今年も色々な事を書こ
うと思つているので、宜しくお願
いします。

今年は、何とか元気に新年を迎え
られました。まだ足の痛みはありま
すが、去年の一月に比べたら全然で
す。この小康状態のまま冬を乗り切
れたら良いんですが・・・。充
実した一年でありますように!!

それを願うためにも、年の始めは
初詣ですよ。今年も例年通り箱根
へ行って来ました。いつもは四日に
行くのですが、父が定年しているの
で7日に行きました。その方が道路
も空いているし、神社も人が少な
いだろうと思つたのです。平日行け
るのはやはり良いですね。思つた通り、
高速は空いていました。わーい!大
正解。途中のトイレ休憩もすんなり
できました。

箱根はとても寒かったです。寒い
だろうと思ひ、防寒具等完璧にし
て来たはずだったのですが、それ
も固まりました。やはり、箱根の寒
さは半端じゃありません。それに曇
つていたので、一段と寒く感じまし
た。暖かい物が飲みたいよ。

神社へ行くと、いつもあるたき火
や甘酒がありません。ええーいー
ー! 7日までお正月じゃないの?
せつかく楽しみにしてたのに……。
ちよつと寂しかったです。とは言
つても、一番の目的はおまいり。余裕
で目の前でお参りができました。一
年健康で過ごせますように! そ
で、去年が厄年だった事が判明。や
っぱり……。みんなに言
われていたのは大当たりだったんだ
と改めて実感してしまいました。で
も、こんなもので終わって、本当に
良かったです。

お参りの後、芦ノ湖の近くのお蕎
麦屋で暖かいお蕎麦を食べて帰りま
した。これで、今年一年元気で過
せるかなあ。

とりあえず、今年一年元気で頑張
ります。

鈴木明日香

療ねひろば

◆12月19日10時30分〜12時30分
開催 16名参加

谷さんより、自立支援協議会暮らし
部会でのショートステイの利用に関し
てのアンケート原案の文面チェックの
依頼あり。
(アンケート来ましたね!通所してい
る方全員に施設を通して依頼したそう
です。ある人からきていないとの話もあ
りました。???です。通所してい
ない人には?)

◆11時30分から12時30分近くの「ルグラ
ン」で忘年会

ひとり1200円の予算でお願いし
たところ、一皿3人前かなと思える量
の(いつも食べている量から換算する
と)スパゲッティ2人前2皿が3種類と
カレーも大盛2皿、サラダも大盛、飲

巳年の抱負

理事長 江川文誠



人に寄り添いたいという気持ちは、相手のことを好きになると自然に生まれる感情だという。福祉の仕事もきっとそのような自然な心の発露の末に生み出された文明の一つなのだろう。

好きか嫌いか、は自分で決定することができない。なぜなら、決定しようとする前に、勝手に感情が決めてしまっているからである。一輪の花を見てきれいだと感じるか、汚いと感じるかの感情に近い。だから、人に寄り添いたいという気持ちも、いくら頭で考えようとしても生み出すことができないのである。

好きになれなかったらどうするか? これは人類にとって大きなテーマで、ほとんどの宗教が示しているように、愛とか慈悲とかのことで示す理性的な態度である。これであれば本能的には嫌いな人に対しても振舞うことができる。先駆的な福祉施設が宗教を背景に育ってきた歴史がそれを示している。

では、宗教的に自律できない場合はどうするのだろうか。世の中ではプロに徹するというこぼでこれを乗り越える決まりになっている。相手を好きになれなくても、愛することができなくても、私は福祉を仕事としている以上、表面的にはこのように振舞うのだとプライドをもって臨むのである。

プライドを持ってないときにはどうするのだろうか。そんなときは後ろ向きだが、社会ルールやマニュアルに沿って仕事に取り組むしかないが、もしそうなら人に寄り添う仕事が向いていないのかもしれないとも一考すべきなのかもしれない。

さて、皆さんはどの立ち位置にいますか? 私自身はいつもプライドでぎりぎりブレキをかけながら、ときどき向いていないのかもしれない自分に気づく人生をずっと歩んでいます。

巳年の抱負はだから「愛や慈悲や好きという感情に一瞬でも多く会えますように!」にしようと思う。

み物、わいわいとおしゃべりしながら
すっかり完食していました。
1月の療ねひろば、短期入所のアン

ケートの聞き取り調査がありました。
皆さんからの意見は次回にご報告し
ます。

2月の「療ねひろば」は、2月20日10
時30分〜12時30分です。是非、皆さん
いらしてください。
(佐藤良子)

◆ロンド・ロンド 高梨正徳

(ロンドに入ったのは
2年前の11月です。福祉職で働きたいな
と思つて、家の近くにいくつかあったので
あたつてみるときに、友だちがロンドで働
いていると聞いて、入りました。今は、ケ
アホームマーチの仕事を中心に、ずんずん
の外出サポートや、居宅で入浴介護などい
ろいろやっています。皆さんのなかかわり
はおもしろく、癒されるような思いをいっ
もしています。後、防災の仕事も手伝い始
めました。介護の仕事は初めてで、最初は
慣れないためにいろいろあつたけど、いま
は楽しくできるようになりました。

(趣味は)

運動で、トレーニングでからだを鍛える
こと。方向性としては、マッチョかな。

(腹筋割れるの?)

シックスパックですか。ちよつとあやしい。
(今年の抱負は?)

11月で経験年数が3年になるので、夏か
ら勉強して介護福祉士の試験を受けようと
思っています。

(ところで、療ねニュース読んでますか)

ハイ読んでます。

(で、感想は?)

……。



ヘルパー勉強会の報告

■12月は「自閉症を理解しよう」がテーマでした

日本自閉症協会発行のDVD「自閉症の子どもたち」をバリアフリーを指して一を見た後で、テーマをきめて、グループ討議をしました。
ヘルパーさんは業務の合間を縫っての参加なので、一度に集まることはとても無理。

2日間にわたって計5グループに分けて開催。新人、ベテランに加え、どのグループにも当事者家族のヘルパーさんがいらして、失敗談に笑い転げたり、経験談に共感を持ちたり、話しのつきない研修会になりました。

テーマ①「自閉症について、理解は深まりましたか」

☆若いヘルパーさんは：自分にもこだわりや感覚異常のところがあるように思う。自閉症の人の生きづらさが分かるような気がします。

テーマ②「悪いことをした時には、怒っていいのですか。」

☆ベテランヘルパーさんは：「(やっ

てはいけないことをやった時は)叱ります。でも感情に走った叱り方にならないように、自分を押さえるためにも、低く小さい声で叱るようにしています。どこか逃げ場は残しておいて、追い詰めないように。叱った後にちゃんとできたら、それでいいですよって、笑顔で返すようにしています。」

テーマ③「コーラ」といって、何度も欲しがります。かわいそうなので、買ってあげたいと思うのですが

☆お母さんヘルパーさんから：うちの子はCCレモンでしたね。最初は「CCレモン」と言うたびに買ってあげていました。でも買ってしまおうと飲まないこともあって。それで、ある時、これは飲みたいのではなく、自販機でCCレモンを見つけたよって言っているのではないかと思いがりました。それから、「そうだね、CCレモンがあったね」とか「瓶はこういうかたちだね」とか、言葉で

東北大震災ボランティアセンター 12月29日山田町訪問

山田町に年越しそばを届けに行ってきました。

川上さんは、自家用車で岩泉のげんさんが準備して下さったお蕎麦と蕎麦つゆ・かまぼこ400食を取りに行き、山田町に。

谷は、深夜バスで池袋→山田町へ。遠野から釜石、大槌・山田町へのルートは、何度も通った道。釜石駅を過ぎると、2011年4月に来た時の衝撃を今も思い出す。車の残骸が堆積していた新日鉄釜石は、煙突から盛んに煙を吐きだし操業して



いた。橋を渡って街に入る。半年前まで、1階部分が津波で破壊されたまま残されていた店舗や住宅だったところが、少しずつ改修が進んで、新築の住宅も目立ってきた。しかし、更地が不自然にあちらこちらに見つけられる。東北電力のこのあたりでは大きなビルだけが、ガラスが割れ、ドアがひしゃげたまま残っていた。山田町の船越湾沿岸。津波に襲われた街は、土台さえも枯れた草に覆われ、ここに人が住んでいたという痕跡さえ外部の人には見つけられなくなっている。

30日7時30分に、山田町道の駅で、川上さんと合流。下村さんの仮設住宅に。集会所で、お蕎麦の袋詰め作業。仮設の方が出てきて手伝って下さった。みなさん手早いこと。車に台に分かれて、6カ所の仮設まわり。



1軒1軒お尋ねし、声を掛けると「はあ、遠いところから、ありがとうね」と、やさしい笑顔で迎えて下さる。3度目の訪問で、顔見知りになった方にも会えて、懐かしいような気持ちになる。迷ったけれど、来てよかったのか。

山田町の復興はどうなっているのだろうか。下村さんに伺うと、この間に山田町ではびっくりすることが起きていた。

山田町は、国からの復興支援金8億円を北海道にあるNPOに再委託し復興事業を任せられた。しかし、2年間の期限の途中で、このNPOは、7億9千万円を使い果たし、その使用道が不明瞭で大きな問題になっているというところであった。川崎に戻ってネットで調べたら、疑惑がたぐさん出てきて町議会でも大問題になっていた。復興に名を借りてこんなことが起きていたとは、愕然としている。

お正月恒例フリーバースランニング大会

継続こそ力なり・・・今までにない軽快な走りに、サポーターも感激！来年も行きますよ。



相談支援の説明会に出席して

参加された方の感想(松浦明美)

12月26日の相談支援の説明会に行つて話を聞いてきました。前の説明会とは、ずいぶん違っていました。一回前の説明会では、何処に住んでいても、利用者が好きな支援センターを選べると言う話だったので、少しは安心が出来ていたのに、今度の説明会では、(例)麻生区に住んでいる人は麻生区の支援センターではないと駄目らしい事を言っているんです。何だか不安と怒りが、込み上げてきてしまいました。私情ごとになってしまふのですが、私は今の支援センターを使い始めてから、8年か9年になるのですが、何か困った事があればすぐに来てくれたり、行動を取ってくれたりしていたのでとても助かっていました。一口に8年だと言ってしまうのは、簡単だけれど、8年間の歴史は長いですよ。最初は何も言えなかった私が何でも相談出来るだけになったのですから。私の家は、すごく複雑なんです。私が障害があつて母親が認知症で父が透析をしていて、なので絶対に変わられるのは困るんですよ。皆さんは、困る事はありませんか。私は、絶対に当事者の人が選ばないと駄目だと思っています。最後に支援センターばかりではなく、これからは、何でも、私たち当事者が入って、決めていかないと駄目だと思っています。